

令和7年度三重大学国際交流事業実施報告書（学内版）

1. 申請部局

学部・研究科名等： 人文学部

事業担当者の職・氏名： 安食 和宏

内線電話番号： 9108

電子メール： ajiki@human.mie-u.ac.jp

2. 事業の名称（20字以内，別に副題を付けても良い）

人文学部マレーシア夏期英語・異文化研修プログラム

3. 事業内容の別（該当するところにチェックを入れてください。）

教職員，学生の海外派遣（学会やシンポジウム等の出席は除く）

海外交流機関等からの教職員，学生の受け入れ

国際教育プログラムの開発や推進

その他

令和7年度三重大学国際交流事業実施報告書及び
令和7年度「三重から世界へ！」学生海外派遣事業実施報告書

4. 事業の取組結果

(1) 事業概要

本研修では、三重大学の海外協定校である University College TATI (UC TATI) (マレーシア、トレンガヌ州) で夏期英語研修に参加し英語を使った国際交流を体験するとともに、各種メディアや文献だけでは知ることのできない、近代化が進むマレーシアと伝統的なイスラム色が残るマレーシアの地域への理解を深めることを目的として以下の研修を行った。

以下の3点を今回の目標とした。

1. 現地学生との交流や、授業・アクティビティを通じた実践的な英語学習により、英語でのコミュニケーション能力を向上
2. ナイトマーケットや自然探検などを通じて現地の文化に触れ、異文化理解を深める
3. 学術的な視点からタチ大学周辺の人々の「衣・食・住」について、グループごとにテーマを設定し、調査・考察を行うことで、文化的多様性や地域性への理解を深める

人文学部マレーシア夏期英語・異文化研修プログラムは、「申請の準備」「事前研修」「フィールドスタディ」「事後報告」の4つの段階で構成されていた。まず、人文学部の学生を対象に、全学国際戦略チームの協力を得て、人文学部国際交流委員会がタチ大学夏期英語研修に関する説明会を実施した。申請期間中には、9名の学生から参加希望の申請があった。フィールドスタディに先立ち、国際交流委員会の教員の協力のもと、人文学部内で計2回的事前研修を実施した。また、現地での活動を円滑に進めるため、参加学生は班別の探究活動に向けた計画書を事前に作成した。さらに、本学国際戦略チームの担当教員により、タチ大学夏期英語研修の全学ガイダンスが実施された。ガイドの冊子を使用して、現地での詳しいスケジュールについての説明があった。

a. 事前準備

- 2025年5月20日(火) 12:10-12:50
タチ大学夏期英語・異文化研修 2025 説明会
- 2025年6月13日(金) 12:10-12:50
第1回事前研修：役割分担と班別探求活動についての説明
- 2025年7月2日(水) 12:10-12:50
第2回事前研修 タチ大学研修への準備
- 2025年7月18日(金) 12:10-12:50
全学ガイダンス

フィールドスタディは以下の内容と日程で実施した。

b. 研修内容及び日程：

8/24（日） 11:00 中部空港 ⇒クアラルンプール空港⇒ホテル

8/25（月） ホテル⇒ キジュアルへ移動⇒ホテルチェックイン

8/26（火） ホテルチェックアウト

タチ大学公用車でタチ大学へ移動、入寮手続き

8/27（水） Opening Ceremony、ガイダンス

8/28（木）～9/8（月） 英語研修

9/9（火） Closing Ceremony

9/10（水） Janda Baik 観光

9/11（木） クアラルンプール市内観光

クアラルンプール空港 ⇒バンコク空港

9/12（金） バンコク空港 ⇒ 中部空港

c. 事後報告

研修の終了後、参加学生が、現地での活動報告、班別探究活動の報告、研修を終えてのコメントなどを合わせて報告書をまとめた（計 58 ページ）。

(2) 事業の背景・これまでの実績

人文学部ではコロナ禍以後に、タイで 2 回、スリランカでの 1 回のフィールドスタディを実施してきた。ただし、人文学部の事情により、今年度はスリランカでの研修の繰り返しが困難となったため、本学の国際戦略チームの協力を得て、三重大学の海外協定校であるタチ大学での夏期英語・異文化研修（全学企画）に人文学部学生を参加させて合同で行うこととなった。本短期研修は、人文学部としては国際交流委員長の安食和宏教員が引率した。

(3) 事業実施結果

人文学部から、学生 9 名と教員 1 名の合計 10 名が参加した。参加者の内訳は、人文社会科学部研究科修士課程 M1 の 1 名、文化学科 3 年生 1 名、2 年生 3 名、1 年生 1 名、法律経済学科 3 年生 2 名、2 年生 1 名である。学生の振り返りでは、以下のような報告があった。

- マレーシアへ発つ前日は全く実感が湧かなかったが、これまでの人生で経験したことないほどの刺激的で充実した時間を過ごせたことが本当にうれしい。
- 私は今回が初めての海外であったが、日本では当たり前だと思っていたことがそうではなかったり、逆に現地の人にとっては当たり前のことが自分には新鮮で驚きであったりと、知らなかった世界を知ることができたのは非常に興味深い経験であった。
- この研修を通じて、語学力だけでなく、異文化理解や国際的な視点、コミュニケーション能力が向上したと感じている。
- マレーシア人はマレー語、英語の他にも学んでいる言語がそれぞれあり、言語を学ぶという意欲が旺盛だと思いました。私もそれに影響されて、日本に帰ってから外国語の勉強を始めました。

- この経験を通して英語の勉強をより頑張ろうと思え、勉強の方法も単に単語を覚えるのではなく、話すことや聞くことを意識した勉強をしようと思う。
- マレーシア研修では日本では経験することが出来ないことを多く経験出来た。特にイスラム教徒の学生達と一緒に行動し、生活することはあまりないことだったので良かった。
- 異文化交流を通じて、私は、プログラム前後では価値観や他者とのコミュニケーションへの取り組み方が大きく変化した。今後は今回の経験を活かし、海外の人々と接する時だけでなく、日常生活においても相手の背景をリスペクトし、円滑にコミュニケーションが取れるようにしたい。
- 多くの友人と出会い、たくさんの思い出を作り、様々な経験を通して多くの学びを得ることができたこの研修は、自分にとって本当に参加して良かったと思える貴重な機会であった。



授業中の様子



講義後、現地の学生のサポートを受けながら感想や質問を記入している様子



マレーシアの伝統衣装体験



マレーシアの伝統料理作り



現地の講師からマレーシアの伝統音楽について学んでいる場面



カパス島観光体験への船中

(4) 事業の意義

- 人文学部の学生にとって、自らの英語力のレベルに関わらず、海外で、英語を使って考え、伝える機会を得たことは、学生にとって大きな機会となった。
- 異なる宗教や生活習慣、価値観をもつマレーシアの人々と交流する中で、参加学生は「相手の文化を尊重する心」や「異文化を理解する姿勢」の大切さを学ぶことができた。
- 海外での生活を通じて、自分の価値観や日本社会の特徴を見つめ直し、国際社会で求められる柔軟な思考と広い視野を育む貴重な機会となった。

(5) 事業の発展性

今回の事業を通して、海外短期研修・フィールドスタディのノウハウを蓄積することができた。学生の評価が高かった点を伸ばすように、かつ反省すべき点を踏まえて、今後の企画を考えていく必要がある。

(6) 中期目標・中期計画における位置づけ

三重大学第4期中期目標の中で、次の項目に該当する。

・教育分野。

- (3) 国や社会、それを取り巻く国際社会の変化に応じて求められる人材を育成する。
- (8) 学生の海外派遣の拡大や、海外の大学と連携した国際手花教育プログラムの提供等により、異なる価値観に触れ、国際感覚を持った人材を養成する。

(7) その他

特になし。

令和7年度三重大学国際交流事業実施報告書（一般公開：日本語版）及び
令和7年度「三重から世界へ！」学生海外派遣事業実施報告書
（一般公開：日本語版）

人文学部マレーシア夏期英語・異文化研修

(1) 目標

1. 現地学生との交流や、授業・アクティビティを通じた実践的な英語学習により、英語でのコミュニケーション能力を向上
2. ナイトマーケットや自然探検などを通じて現地の文化に触れ、異文化理解を深める
3. 学術的な視点からタチ大学周辺の人々の「衣・食・住」について、グループごとにテーマを設定し、調査・考察を行うことで、文化的多様性や地域性への理解を深める

(2) フィールドスタディーの参加者

1. 安食和宏(人文学部・教授)
2. 人文学部 学生9名（うち大学院生1名）

(3) スケジュール

1. 事前準備

- 2025年5月20日(火) 12:10-12:50
タチ大学夏期英語・異文化研修 2025 説明会
- 2025年6月13日(金) 12:10-12:50
第1回事前研修：役割分担と班別探求活動についての説明
- 2025年7月2日(水) 12:10-12:50
第2回事前研修 タチ大学研修への準備
- 2025年7月18日(金) 12:10-12:50
全学ガイダンス

2. フィールドスタディー

- 8/24 (日) 11:00 中部空港 ⇒クアラルンプール空港⇒ホテル
8/25 (月) ホテル⇒ キジャルへ移動⇒ホテルチェックイン
8/26 (火) ホテルチェックアウト
タチ大学公用車でタチ大学へ移動、入寮手続き
8/27 (水) Opening Ceremony、ガイダンス
8/28 (木)～9/8(月) 英語研修
9/9 (火) Closing Ceremony
9/10 (水) Janda Baik 観光
9/11 (木) クアラルンプール市内観光
クアラルンプール空港 ⇒バンコク空港
9/12 (金) バンコク空港 ⇒ 中部空港

3. 事後報告 参加学生による報告書の作成

(4) 参加者の感想

- マレーシアへ発つ前日は全く実感が湧かなかったが、これまでの人生で経験したことないほどの刺激的で充実した時間を過ごせたことが本当にうれしい。
- 今回が初めての海外であったが、日本では当たり前だと思っていたことがそうではなかったり、逆に現地の人にとっては当たり前のことが自分には新鮮で驚きであったりと、知らなかった世界を知ることができたのは非常に興味深い経験であった。
- この研修を通じて、語学力だけでなく、異文化理解や国際的な視点、コミュニケーション能力が向上したと感じている。
- マレーシア人はマレー語、英語の他にも学んでいる言語がそれぞれあり、言語を学ぶという意欲が旺盛だと思いました。私もそれに影響されて、日本に帰ってから外国語の勉強を始めました。
- この経験を通して英語の勉強をより頑張ろうと思えたとし、勉強の方法も単に単語を覚えるのではなく、話すことや聞くことを意識した勉強をしようと思う。
- マレーシア研修では日本では経験することが出来ないことを多く経験出来た。特にイスラム教徒の学生達と一緒に行動し、生活することはあまりないことだったので良かった。
- 異文化交流を通じて、私は、プログラム前後では価値観や他者とのコミュニケーションへの取り組み方が大きく変化した。今後は今回の経験を活かし、海外の人々と接する時だけでなく、日常生活においても相手の背景をリスペクトし、円滑にコミュニケーションが取れるようにしたい。
- 多くの友人と出会い、たくさんの思い出を作り、様々な経験を通して多くの学びを得ることができたこの研修は、自分にとって本当に参加して良かったと思える貴重な機会であった。



授業中の様子



講義後、現地の学生のサポートを受けながら感想や質問を記入している様子



マレーシアの伝統衣装体験



マレーシアの伝統料理作り



現地の講師からマレーシアの伝統音楽について学んでいる場面



カパス島観光体験への船中

令和7年度三重大学国際交流事業実施報告書（一般公開：英語版）及び
令和7年度「三重から世界へ！」学生海外派遣事業実施報告書
（一般公開：英語版）

**English and Cross-Cultural Studies Program in Malaysia for the Faculty of Humanities,
Law and Economics**

(1) Aims of this study:

1. Enhance English communication skills through interaction with local students and by learning English in practical settings such as classes and various activities.
2. Deepen cross-cultural understanding by experiencing the local culture through activities such as visiting night markets, exploring nature, and engaging with the community.
3. Gain a deeper understanding of cultural diversity and regional characteristics by setting a specific theme for each group and conducting research and analysis on the food, clothing, and shelter of people living around Tati University from an academic perspective.

(2) Field study participants:

1. Kazuhiro Ajiki (Professor, Faculty of Humanities, Law and Economics)
2. 9 students from the Faculty of Humanities, Law and Economics

(3) Schedule:

1. Preparatory Activities

- Tuesday, May 20, 2025 (12:10 PM – 12:50 PM)
Tati University Summer English & Cross-Cultural Training 2025 Information Session
- Friday, June 13, 2025 (12:10 PM – 12:50 PM)
First Pre-Training Session: Explanation of role assignments and group research activities
- Wednesday, July 2, 2025 (12:10 PM – 12:50 PM)
Second Pre-Training Session: Preparation for the Tati University program
- Friday, July 18, 2025 (12:10 PM – 12:50 PM)
Tati University Orientation

2. Field study schedule

- August 24 (Sun) Chubu Airport → Kuala Lumpur Airport → Transfer to hotel
August 25 (Mon) Hotel → Transfer to Kijal → Hotel check-in
August 26 (Tue) Hotel check-out → Transfer to Tati University by university vehicle →
Dormitory check-in
August 27 (Wed) Opening ceremony and orientation
August 28 (Thu) - September 8 (Mon) English training
September 9 (Tue) Closing ceremony
September 10 (Wed) Sightseeing in Janda Baik
September 11 (Thu) Kuala Lumpur city tour → Kuala Lumpur Airport → Bangkok
Airport
September 12 (Fri) Bangkok Airport → Chubu Airport

3. Program summary report

Preparation of the Final Report by Participating Students

(4) Reviews of the field study by the participating students

- The day before leaving for Malaysia, it still didn't feel real, but I'm truly happy to have spent such an exciting and fulfilling time—an experience unlike anything before.
- As this was my first time abroad, it was fascinating to discover a world I had never known. What seemed ordinary in Japan was different there, while what was normal for the locals felt fresh and surprising to me.
- Through this training, I improved not only my English skills but also my cross-cultural understanding, international outlook, and communication abilities.
- I was impressed by Malaysians' strong motivation to learn multiple languages, which inspired me to study another foreign language after returning to Japan.
- This experience also encouraged me to study English more seriously by focusing more on speaking and listening rather than just memorizing vocabulary.
- The program offered experiences unavailable in Japan—especially the opportunity to live and interact with Muslim students.
- Through this exchange, I realized how much my values and communication style had changed. I hope to apply these lessons in my daily life by respecting others' backgrounds and communicating openly.
- The training gave me wonderful friends, countless memories, and valuable lessons, making it a truly unforgettable and meaningful experience.



Classroom session at Tati University



Writing reflections and questions with the support of local students



Cultural experience:
Traditional Malaysian attire



Cultural experience:
Traditional Malaysian cooking



Learning about Malaysian traditional music
from a local instructor



Kapas Island sightseeing experience